

このコーナーでは、九州一安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



西小林中学校区きずな協働体
にっこばまちづくり協議会の
活動拠点となる事務所を開設



開設式では、深草会長らによるテープカットで開設を祝いました

にっこばまちづくり協議会の活動拠点となる事務所が、西小林地区公民館の横に開設されました。この事務所には、事務局員1人が常駐。原則、平日10時から17時まで開いています。11月6日には、住民ら約50人が参加して開設式を実施。同協議会の深草彰三会長は、「事務所開設を契機として、これまでも増して、安心安全で笑顔いっぱいの“にっこば”を目指して取り組んでいきたい」とあいさつしました。



市民活動支援センターからのお知らせ
小林市市民活動支援センターをご利用ください。



小林市市民活動支援センターでは、まちづくりに貢献する公益的な市民活動を支援します。団体運営等でお困りの方、何か活動したいと考えている方、お気軽にお立ち寄りください。スタッフ一同、お待ちしております。

■ 市民活動支援センターってこんなところ

- ①会議室を無料でお貸しします。
- ②市民活動に関する質問にお答えします。
- ③スキルアップのための講座を開催します。



霧島山入山規制
登山道調査で危険箇所を多数
発見。開放には相当の時間

霧島連山・新燃岳の警戒範囲縮小を受け、11月1日、登山道の規制解除に向けた調査が行われました。市のほか、環境省、県警や消防などの職員ら約30人が参加。えびの高原から入山し、韓国岳-獅子戸岳-大幡山-大幡池を經由し、ひなもりオートキャンプ場に降りるコースを調査。大雨による浸食で登山道が崩壊し、登山道がやぶに覆われるなど、「危険箇所が多くあり、開放には相当の時間がかかる」と判断されました。



登山道は大雨による浸食などにより崩壊。危険なので、登山者は絶対に規制を守ってください

④コーディネーター役として、関係団体などとの連携を促進します。

※開館時間：9時から18時まで
(会議室利用は、21時まで。但し、前日までに会議室の予約必須)

※閉館日：月曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

問 小林市市民活動支援センター
Tel 27-3177（月曜、祝日は休館）

協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」を目指して

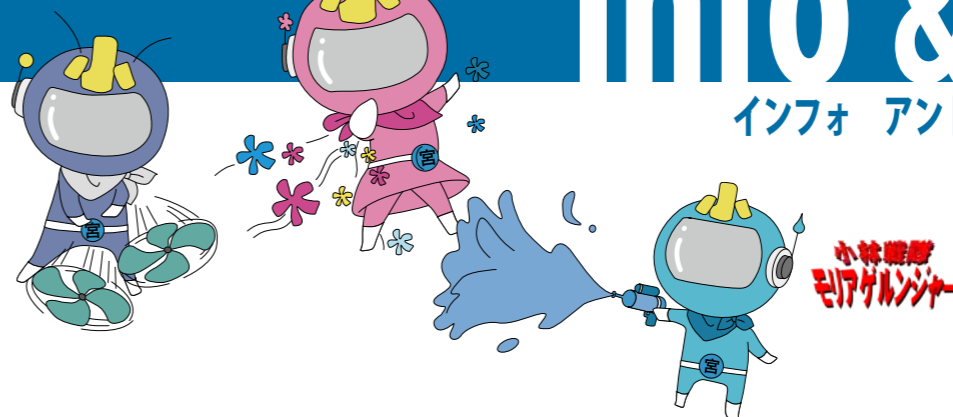


も応援。

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



このイラストは、小林高校2年生海蔵楓華さんが（当時・永久津中3年生）小林市の活性化を願い作成したものです。市の自然（花、星、水、虫）がモチーフになっています。



認知症対策
認知症の徘徊者への声かけ
上町中区で学習



体験した人は「どちらにおかけですか」「ひと休みされませんか」と語りかけていました

認知症で徘徊する高齢者への声かけの仕方を学ぶ、徘徊模擬訓練（高齢者見守り訓練）が、10月27日、上町中区ふれあい広場で行われました。住民や関係者ら約100人が参加し、徘徊者の早期発見や行方不明防止のため、様子が気になる人への声かけを体験。徘徊者に扮した住民2人が2コースに分かれて歩き、声かけを行いました。上町中区の松山昌行区長は「地域で支え合い見守る体制を作っていきたい」と話していました。



防災
災害発生時の協力体制
市内2団体と協定を締結

市は、小林商工会議所と小林地区電気工事事業協同組合の2団体と「災害時における応急対策業務等に関する基本協定」を結びました。この協定は、地震や台風などの災害発生時に、市から要請を受けると、2団体が協力を行うもの。その内容は情報の共有、公共施設の復旧、建築資材や電気資機材の提供など多岐にわたります。肥後市長は「市でも地震や噴火など自然災害が想定される中、非常に心強い」と話していました。



【左】商工会議所・熊ノ迫文夫会頭 【右】左から電気工事業協同組合・西力理事長、迫文男理事